

第2回（仮称）湯本豪一記念日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）
アドバイザー委員会 議事要旨

1. 日時

平成29年1月17日（火）9：30～12：00

2. 場所

三次市役所 本館3階会議室

3. 出席委員（五十音順，敬称略）

植田千佳穂（委員長），杉本好伸，湯本豪一

4. 議事

- ・基本計画（素案）について
- ・開館までの広報について

5. 議事要旨

- ・上記議事について，事務局より説明後，討議が行われた。
- ・主な意見は以下のとおり。

（研究，資料の扱い等について）

- ・学芸員資格の取得を目的とした「博物館実習研修」を受け入れるのは体制的に難しいので，妖怪を研究したいという大学院生や研究者などの受け入れから取り組んでどうか。また，「妖怪大学」のような定期的な講座で，妖怪研究の第一人者を呼ぶなどにより学んでもらう方法もある。
- ・資料の調査，研究の要望もあると思われ，原本の閲覧を許可するかを含め，資料の扱いについて事前にルールを整理する必要がある。
- ・資料がデータ化していれば，原本ではなくデータの閲覧で済む場合もあるので，資料のデータ化は早い方がいい。
- ・資料の著作権や貸与等の対価の扱いについては，有料にすれば収益が得られる可能性があるが，目的に応じてフリーにすれば，研究の広がりや，他館との資料の貸し借り出しが容易になるなどの効果が期待できる。

（展示について）

- ・「常設展示」という名称は展示替えされないというイメージを持たれやすい。実態に合わせて名称を設定する必要がある。

- ・本館は展示替えを行う部分が多くなるので、入館料については、期間に応じて変える必要があるのか、検討が必要。特別な展示の場合を除き、入館料を分けなくてもいいと思う。

(地域や外部との連携等について)

- ・他の美術館や博物館でも、地域連携をしているところはあると思うので、地域との連携事業等を、基本計画にも記す必要があるのではないか。
- ・他の自治体との連携についても記すべきではないか。
- ・他館で組織されている友の会やファンクラブなどの市民支援体制についても、本館でも基本計画に記してはどうか。学会や博物館の協議会組織への参画も必要と思われる。
- ・交流棟との連携についても、記載しておく必要があると思う。
- ・「博物館協議会」を設立し、多角的に博物館活動を見ていただく必要がある。設立は早いに越したことはないが、体制等について慎重に検討する必要がある。

(開館までの広報について)

- ・学会等の関連する組織での広報も有効と思われる。
- ・開館までにも広報展開を図るため、窓口の統一や戦略的な取組が重要である。

6. 非公開の理由

(仮称)湯本豪一記念日本妖怪博物館(三次もののけミュージアム)の基本計画(素案)については、施設、事業、運営等について作業の途中過程を事務局から説明し、委員にそれぞれの立場から忌憚の無い発言を頂いた上で、今後、総合的に再整理して基本計画として取り纏めていくことにしている。そのため、会議を公開することにより不当に市民の間に混乱を生じさせるおそれがあることから、非公開にて委員会を開催し、議事概要について公表。